

令和元年度 国立赤城青少年交流の家 教育事業（民間企業等連携事業）

「育パパ&育ママ応援ファミリーキャンプ in 国立赤城青少年交流の家2020冬」

1. 趣旨

当機構は、体験活動を通じた青少年の自立を目指し、幼児期からの体験活動や基本的な生活習慣の育成について推進するとともに体験の場と機会のさらなる充実について取り組んでいるところである。本事業は、その具体的な事業の一つとして、民間企業等との連携による教育事業等の質的・量的な拡充を図るため、民間企業との共催事業を実施し、民間企業と連携したモデルプログラムを構築する。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和2年2月1日（土）～2日（日）

(2) 参加者

①参加対象 幼児・小学生を含む家族・親子

②参加人数 53名（18家族）

保護者24名 小学生14名 幼児12名 3歳未満児3名

東京都9家族、千葉県8家族、埼玉県1家族

3. 企画運営のポイント

- ・民間企業と連携したモデルプログラムを開発すべく、東武鉄道及び東武トップツアーズと連携し、首都圏の家族をターゲットにした集団宿泊体験や自然体験を提供する。
- ・冬の赤城山の自然を満喫する「雪遊び」と季節の行事である「恵方巻づくり」を実施することで、家族が楽しむ自然体験や文化体験の機会と場を提供する。
- ・「パパママ向け講座」では、体験活動や規則正しい生活習慣の大切さなどを保護者向け伝えるとともに、パパママの交流を図る場とする。
- ・「絵本の読み聞かせ」では、学生ボランティアによる歯磨き指導の後、読み聞かせ等を行う。

4. 日程

	午前	午後	夜
2月 1日 (土)	浅草駅発一（特急りょうもう号）赤城駅着	雪遊び はじまりの会	ミニキャンドルファイヤー パパママ向け講座 絵本の読み聞かせ
2月 2日 (日)	恵方巻づくり ぐんまちゃんと写真撮影 おわりの会	赤城駅一（特急りょうもう号） 浅草駅着	

5. 主な活動内容



「雪遊び」



「雪遊び」



「パパママ向け講座」



「絵本の読み聞かせ」



「恵方巻づくり」



「恵方巻づくり」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足 15 家族 (83%) やや満足 2 家族 (11%) やや不満 1 家族 (6%)

(2) 参加者の声

- ・プログラム時間がちょうどよく、とても満足です。小さな子供が多かったので、内容や時間が子供たちにとっても合っていました。
- ・日ごろ、子供3人を1人で見届けることが大変なので、職員やボランティアさんのおかげで、スムーズに動けました。
- ・特典をたくさんありがとうございます。電車やバスの座席にゆとりがあって良かったです。
- ・秋に比べると、各プログラムの時間が少なく、残念でした。

(3) 成果

- ① 広報を早めに実施できたことから、秋編を上回る19家族57名の申し込みがあった。駅構内掲示のチラシ、電車内の中張り広告、学校配布のチラシ、前回参加者など、多様な広報媒体から情報を入手して参加していることから、民間企業連携事業の意義を実感することができた。
- ② 雪不足のため、予定を変更し、赤城山第一スキー場で雪遊びを実施した。交流の家からバスで40分程度の距離で、雪遊びプログラムを十分に実施可能な場を見いだすことができ、今後の、冬の活動展開が広がった。また、参加者の雪遊びの満足度が高かったことから、首都圏に住む家族にとっては、赤城の冬の自然を満喫する内容となった。
- ③ 民間企業との連携2年目、また、今年度は、秋編に続いて2回目の実施であったことから、連携企業との連絡調整がスムーズとなり、事前準備等、運営が円滑にすすんだ。

(4) 課題

- ① 雪遊びプログラムを実施するにあたり、物品の精査や、活動場所の詳細な把握、安全管理の徹底など、入念な準備を職員だけではなくボランティアスタッフとも共有するすすめる必要があった。
- ② 幼児や未満児が多く参加する事業であることから、特に、各プログラムの時間配分や全体の流れについて、再検討する必要がある。

担当：事業推進係長 福岡 公平